

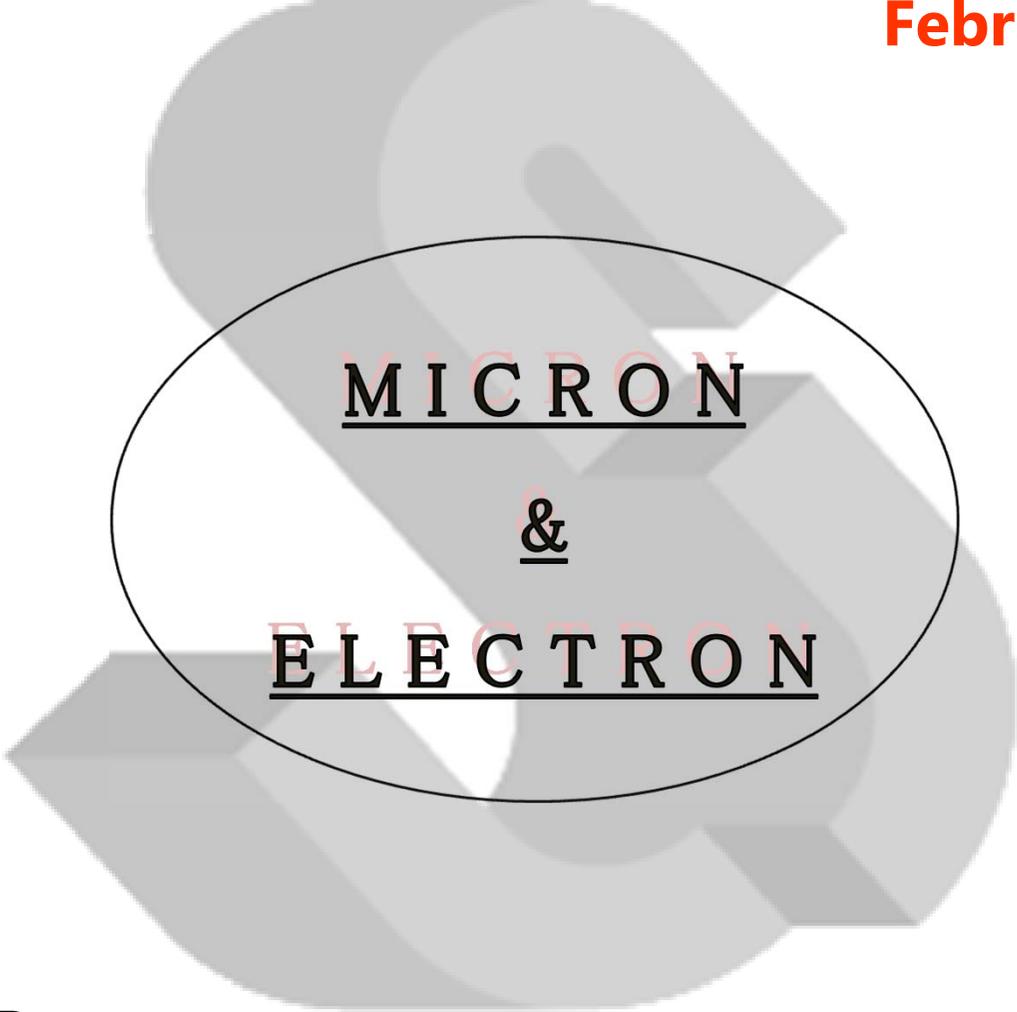
---

株式会社 鈴木

---

2019年6月期 第2四半期  
決算説明資料

February 22, 2019



MICRON  
&  
ELECTRON



**SUZUKI**

東証一部 code:6785

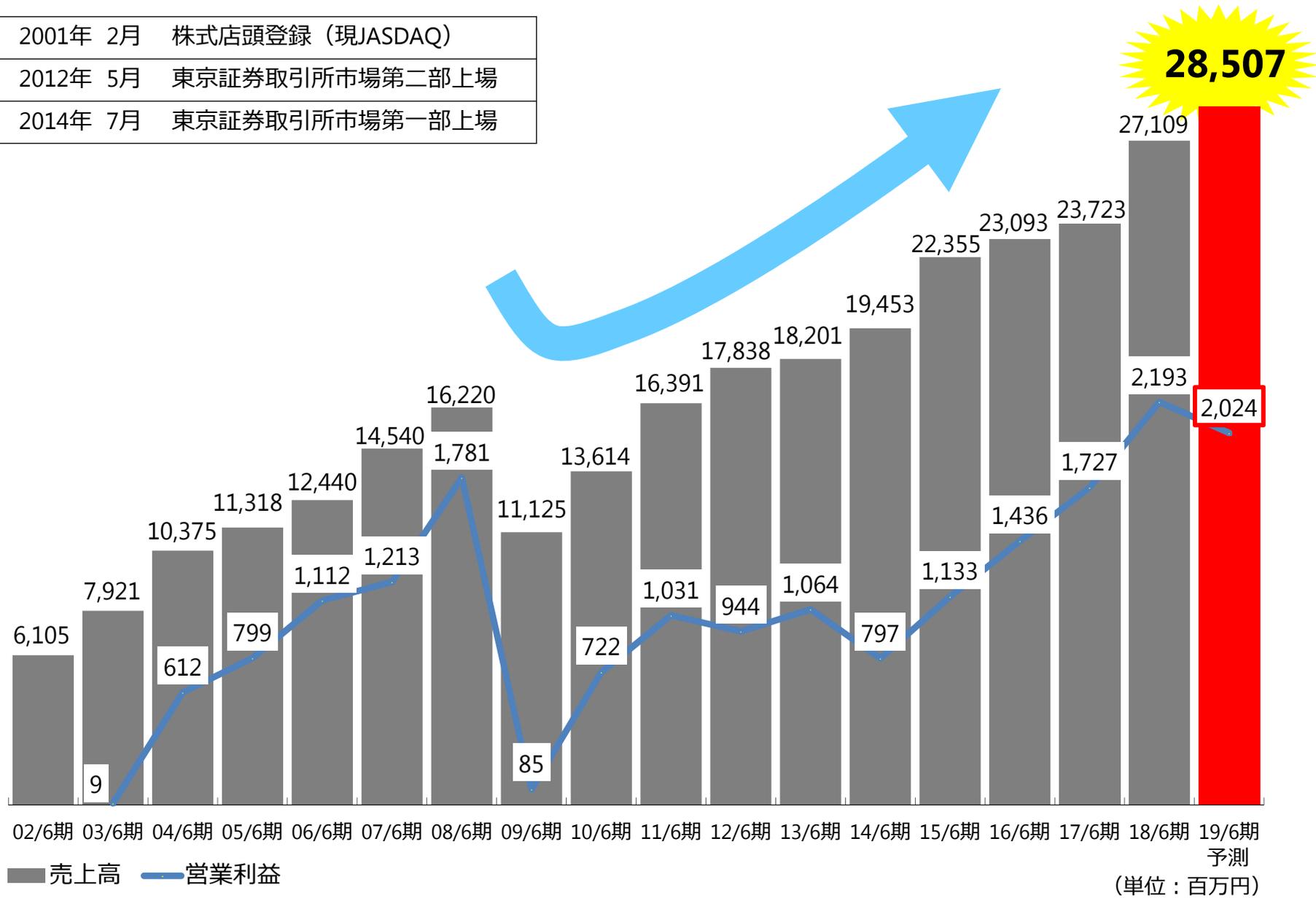
SUZUKI CO.,LTD.

---

2019年6月期第2四半期 業績説明

# 成長の軌跡

2001年 2月	株式店頭登録 (現JASDAQ)
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場



- 2019年6月期第2四半期は前期比で減収減益
- 部品セグメント  
電子部品コネクタは主力のスマートフォン向け需要が低調  
自動車電装向け部品コネクタは堅調を維持
- 機械器具セグメント  
医療器具が予測を上回る需要で売上増加

(単位：百万円)

	2018年6月期 第2四半期		2019年6月期 第2四半期		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売上高	13,865	-	13,757	-	△107	△0.8
売上総利益	2,283	16.5	2,049	14.9	△234	△10.3
営業利益	1,376	9.9	1,035	7.5	△341	△24.8
経常利益	1,429	10.3	978	7.1	△451	△31.5
親会社株式に帰属する 当期純利益	861	6.2	483	3.5	△377	△43.9

# 連結事業別セグメント情報

## セグメント別売上高 計画と実績

(単位：百万円)

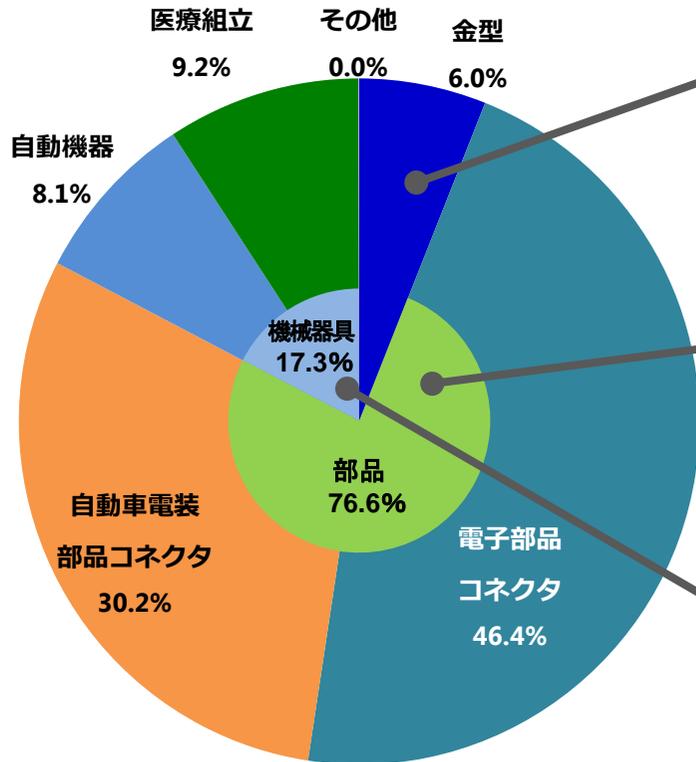
	2019/6期 第2四半期 期初計画		2019/6期 第2四半期 実績		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
■ 金型	879	6.3	<b>830</b>	<b>6.0</b>	△49	△5.6
■ 部品	10,892	77.4	<b>10,539</b>	<b>76.6</b>	△353	△3.2
■ 電子部品コネクタ	6,968	49.5	<b>6,380</b>	<b>46.4</b>	△588	△8.4
■ 自動車電装部品コネクタ	3,924	27.9	<b>4,159</b>	<b>30.2</b>	235	+6.0
■ 機械器具	2,288	16.3	<b>2,384</b>	<b>17.3</b>	96	+4.2
■ その他	5	0.0	<b>5</b>	<b>0.0</b>	0	0
合計	14,064	100	<b>13,758</b>	<b>100</b>	△306	△2.2

## セグメント別売上高 前年比較

(単位：百万円)

	2018/6期 第2四半期		2019/6期 第2四半期		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
■ 金型	788	5.7	<b>830</b>	<b>6.0</b>	42	+5.3
■ 部品	10,933	78.8	<b>10,539</b>	<b>76.6</b>	△394	△3.6
■ 電子部品コネクタ	7,212	52.0	<b>6,380</b>	<b>46.4</b>	△832	△11.5
■ 自動車電装部品コネクタ	3,721	26.8	<b>4,159</b>	<b>30.2</b>	438	+11.8
■ 機械器具	2,139	15.4	<b>2,384</b>	<b>17.3</b>	245	+11.5
■ その他	5	0.0	<b>5</b>	<b>0.0</b>	0	0
合計	13,865	100	<b>13,758</b>	<b>100</b>	△107	△0.8

2019年6月期第2四半期 セグメント別売上高構成



**【金型】**

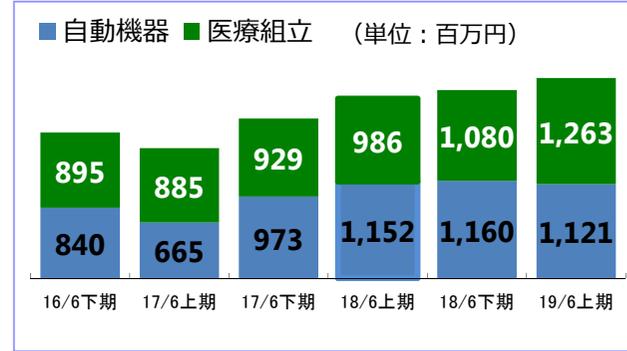
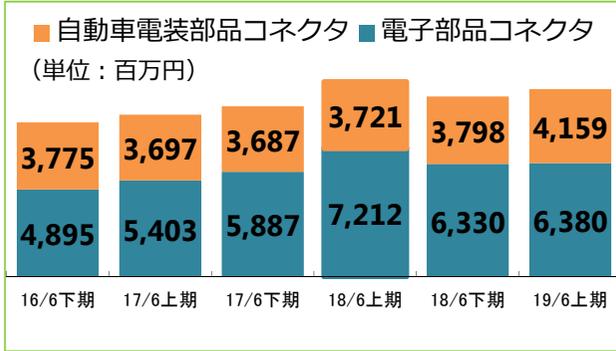
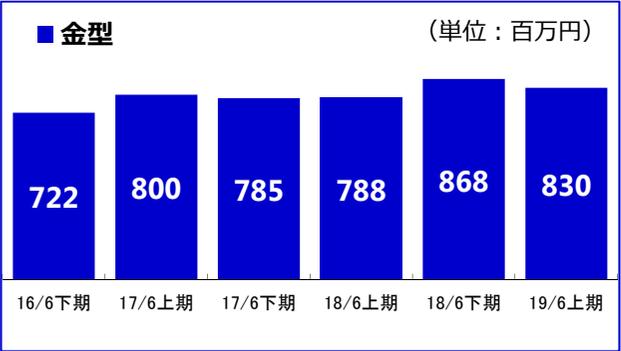
- 電子機器向け金型は多機能端末向けコネクタ用と車載コネクタ用が中心。自動車向け金型には試作用も含まれる
- セグメント売上高は830百万円、前年同期比+5.3%

**【部品】**

- 電子部品コネクタはスマートフォン向けと車載向けが中心で、スマートフォン向け需要が伸びず前年同期を11.5%下回る
- 自動車電装部品コネクタは堅調に推移
- セグメント売上高は10,539百万円、前年同期比-3.6%

**【機械器具】**

- 自動機器は自動車関連装置と医療関連装置が中心  
前年同期と同水準を維持
- 医療組立は需要増加で前年同期を28%上回る
- セグメント売上高は2,384百万円、前年同期比+11.5%



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

財務体質は  
健全な水準を維持

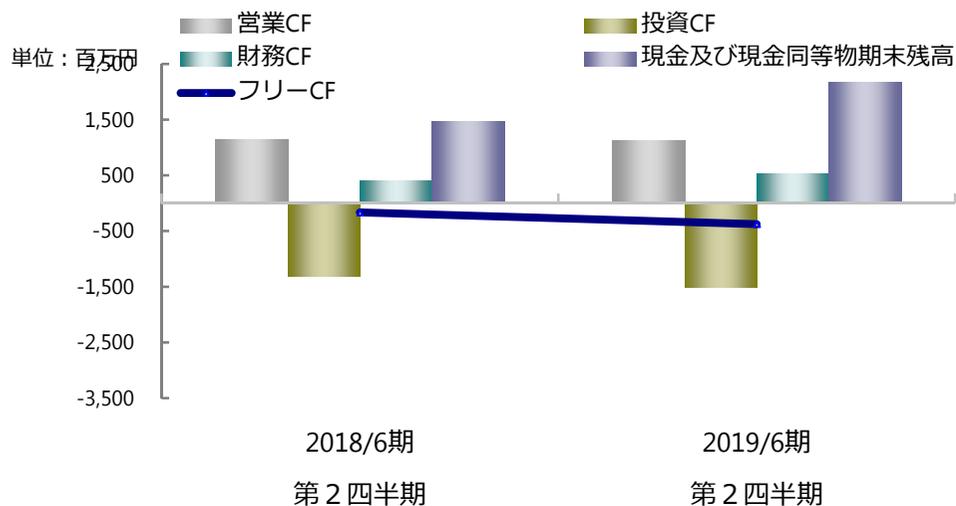
	18/6期 期末	19/6期 第2四半期	増減額
流動資産	11,676	10,923	△752
現金及び預金	3,284	2,469	△814
受取手形及び売掛金	5,443	5,422	△20
たな卸資産	2,648	2,712	64
固定資産	12,084	12,624	540
有形固定資産	10,116	10,911	794
無形固定資産	84	106	22
投資その他の資産	1,883	1,605	△277
<b>資産合計</b>	<b>23,760</b>	<b>23,548</b>	<b>△211</b>
流動負債	5,426	5,518	91
買掛金	2,402	2,412	9
短期借入金+ 一年内返済予定長期借入金	1,726	1,828	102
未払法人税等	556	445	△111
固定負債	2,257	2,095	△162
長期借入金	927	750	△177
純資産	16,075	15,934	△141
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>23,760</b>	<b>23,548</b>	<b>△211</b>

	18/6期 期末	19/6期 第2四半期
短期借入金	1,245	1,449
一年内返済予定 長期借入金	480	379

有利子負債	18/6期 期末	19/6期 第2四半期
	2,654	2,579

	18/6期 期末	19/6期 第2四半期
流動比率	215.1%	197.9%
当座比率	160.8%	143.0%
固定比率	76.8%	80.5%
自己資本比率	66.2%	66.6%

# 連結キャッシュフロー計算書



## 【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】

税引前当期純利益	980百万円
減価償却費	719百万円
売上債権の増減（増加：△）	27百万円
たな卸資産の増減（増加：△）	△76百万円
仕入債務の増減（減少：△）	7百万円

## 【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】

有形固定資産の取得による支出	△1,448百万円
----------------	-----------

## 【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】

短期借入金の純増加額	134百万円
長期借入金の返済	△278百万円
配当金の支払額	△186百万円
非支配株主への配当金の支払額	△219百万円

(単位：百万円)

	2018/6期 第2四半期	2019/6期 第2四半期
営業活動によるキャッシュフロー	<b>1,137</b>	<b>1,128</b>
投資活動によるキャッシュフロー	△ <b>1,304</b>	△ <b>1,505</b>
フリーキャッシュフロー	△ <b>167</b>	△ <b>377</b>
財務活動によるキャッシュフロー	<b>395</b>	<b>525</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ <b>58</b>	<b>86</b>
現金及び現金同等物の増加額	<b>170</b>	<b>814</b>
現金及び現金同等物の期末残高	<b>1,461</b>	<b>2,181</b>

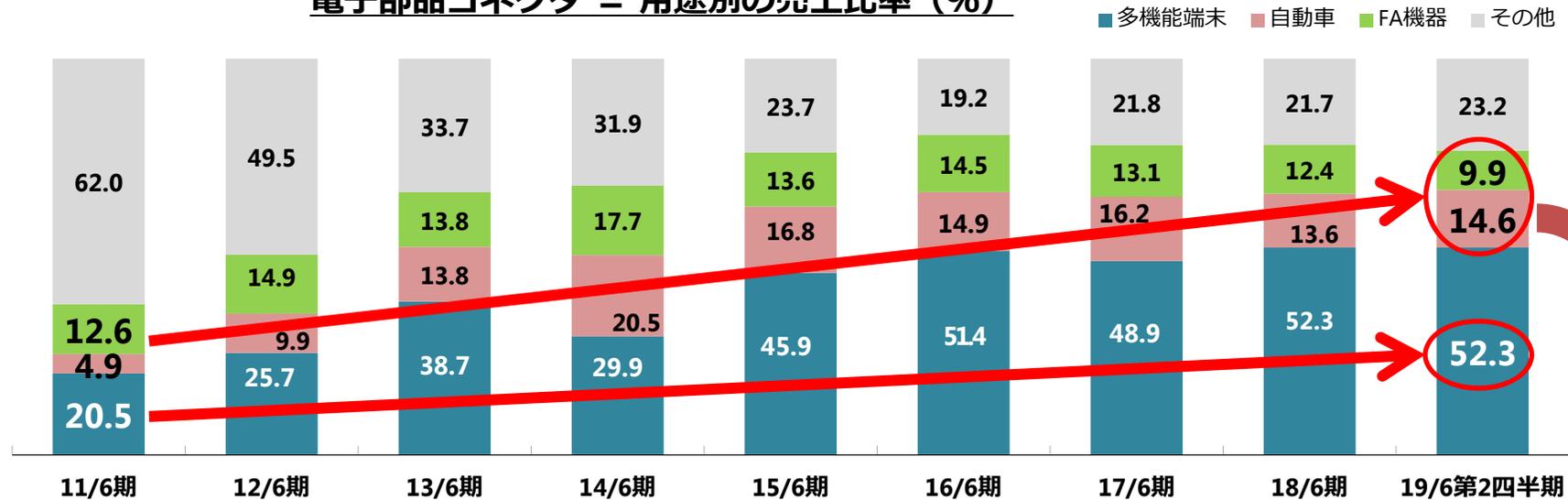


事業方針

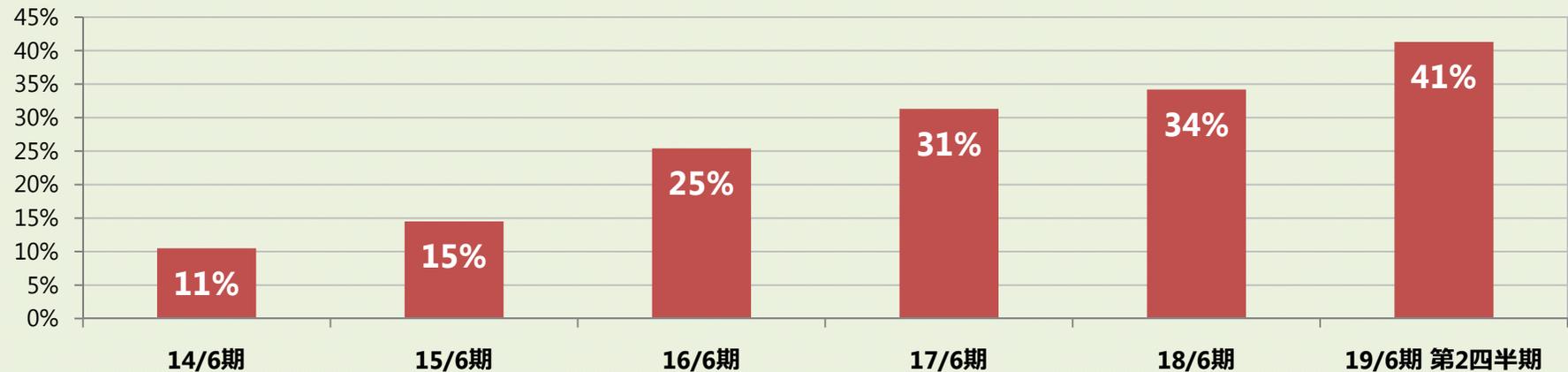
# モノ作りNo.1を目指して：電子部品コネクタ

## 独自技術と融合技術の深化

電子部品コネクタ = 用途別の売上比率 (%)



A社向けコネクタの自動車用比率推移



# モノ作りNo.1を目指して：自動車電装部品コネクタ

S&Sコンポーネンツ

金型

部品

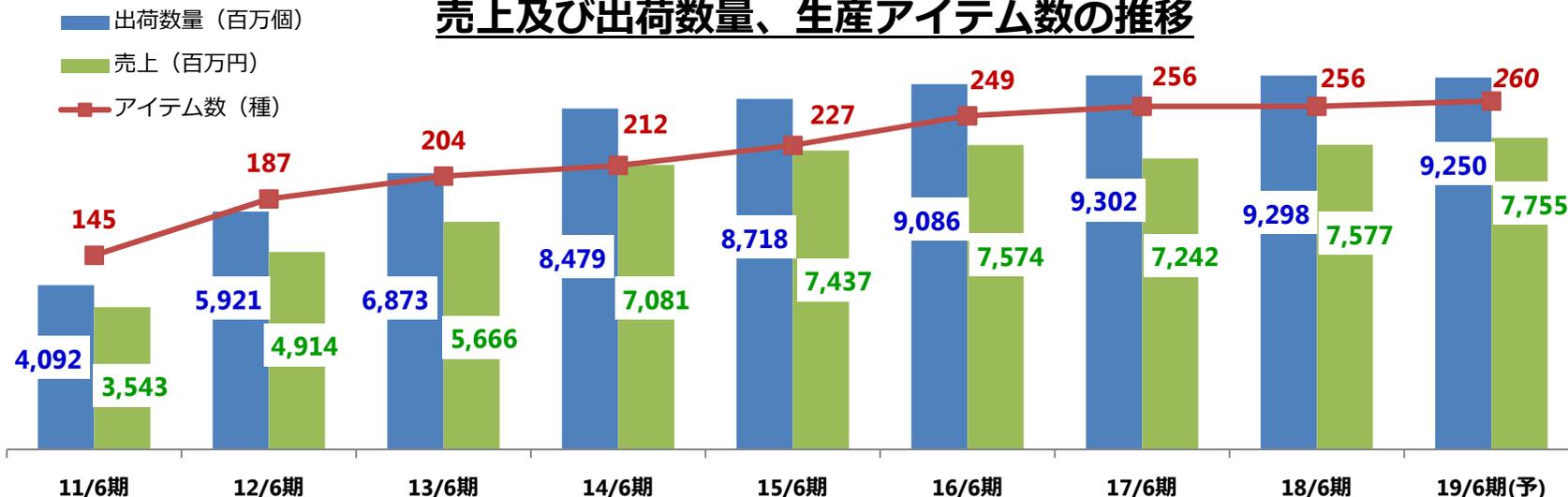
機械  
器具

10

## 事業開始より 順調な事業展開



### 売上及び出荷数量、生産アイテム数の推移



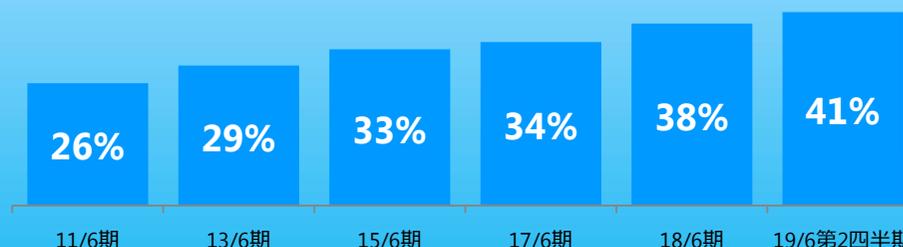
### 顧客のグローバル販売数量推移

(2016実績を100%)



### 顧客内シェア推移

金型技術、量産技術を背景に  
国内シェア拡大

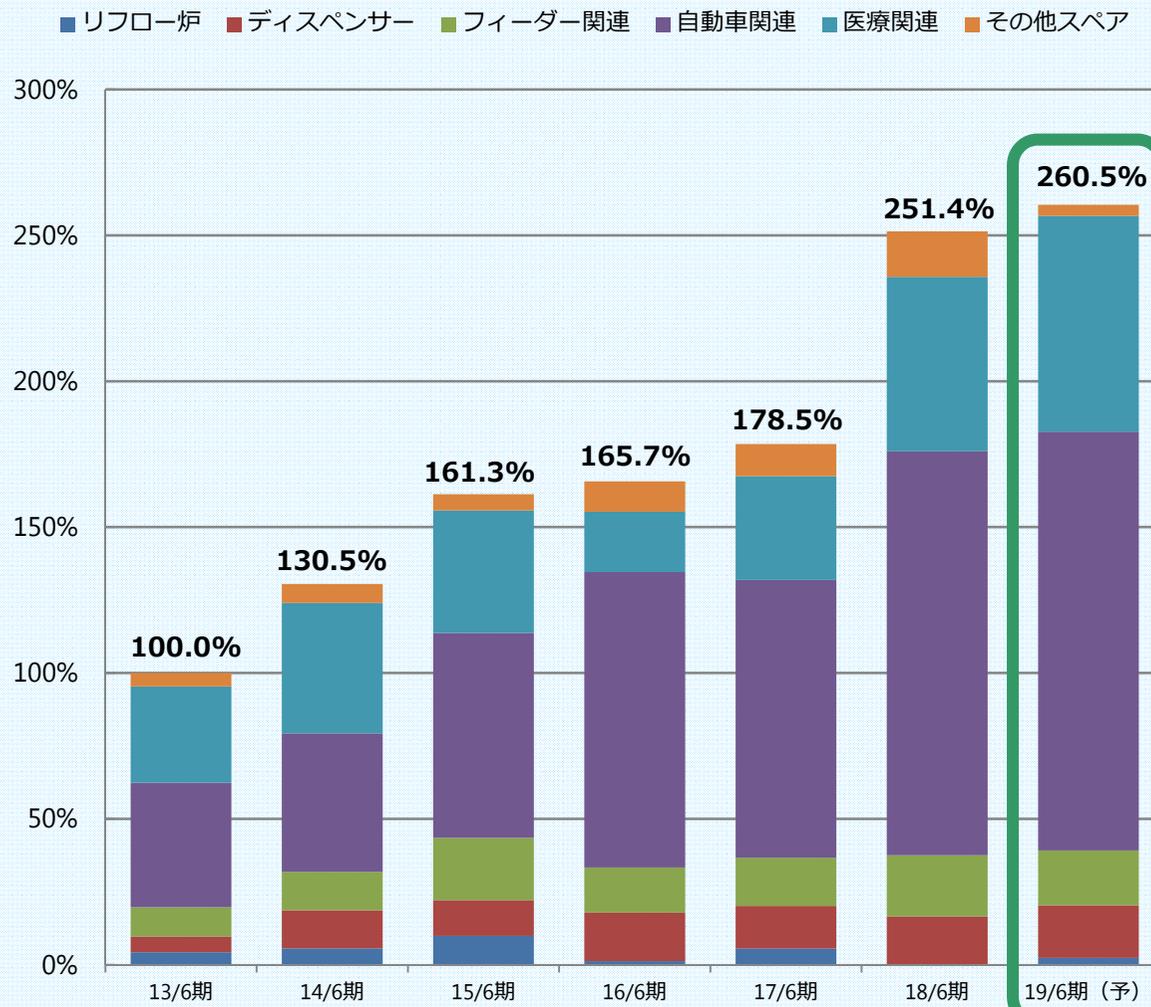


※ 顧客の国内の外注先における生産数量から算出

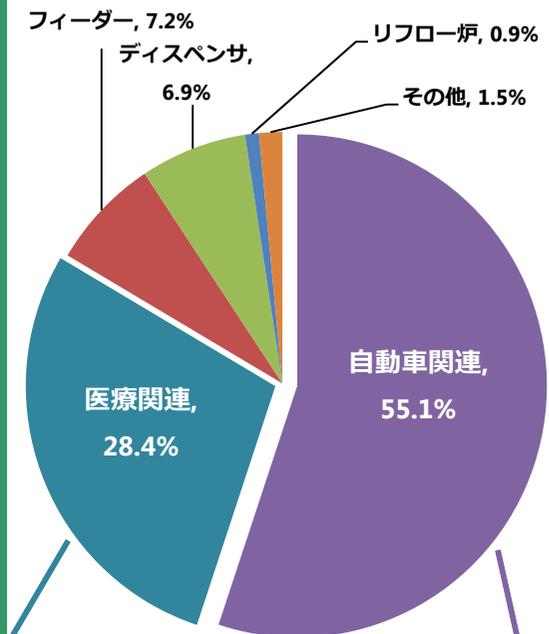
# モノ作りNo.1を目指して：機械器具（自動機器）

技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

## 売上推移（13/6期を100%）



## 19/6期(予) 売上構成比率



**医療関連**  
医療組立増産計画あり。自動化推進。

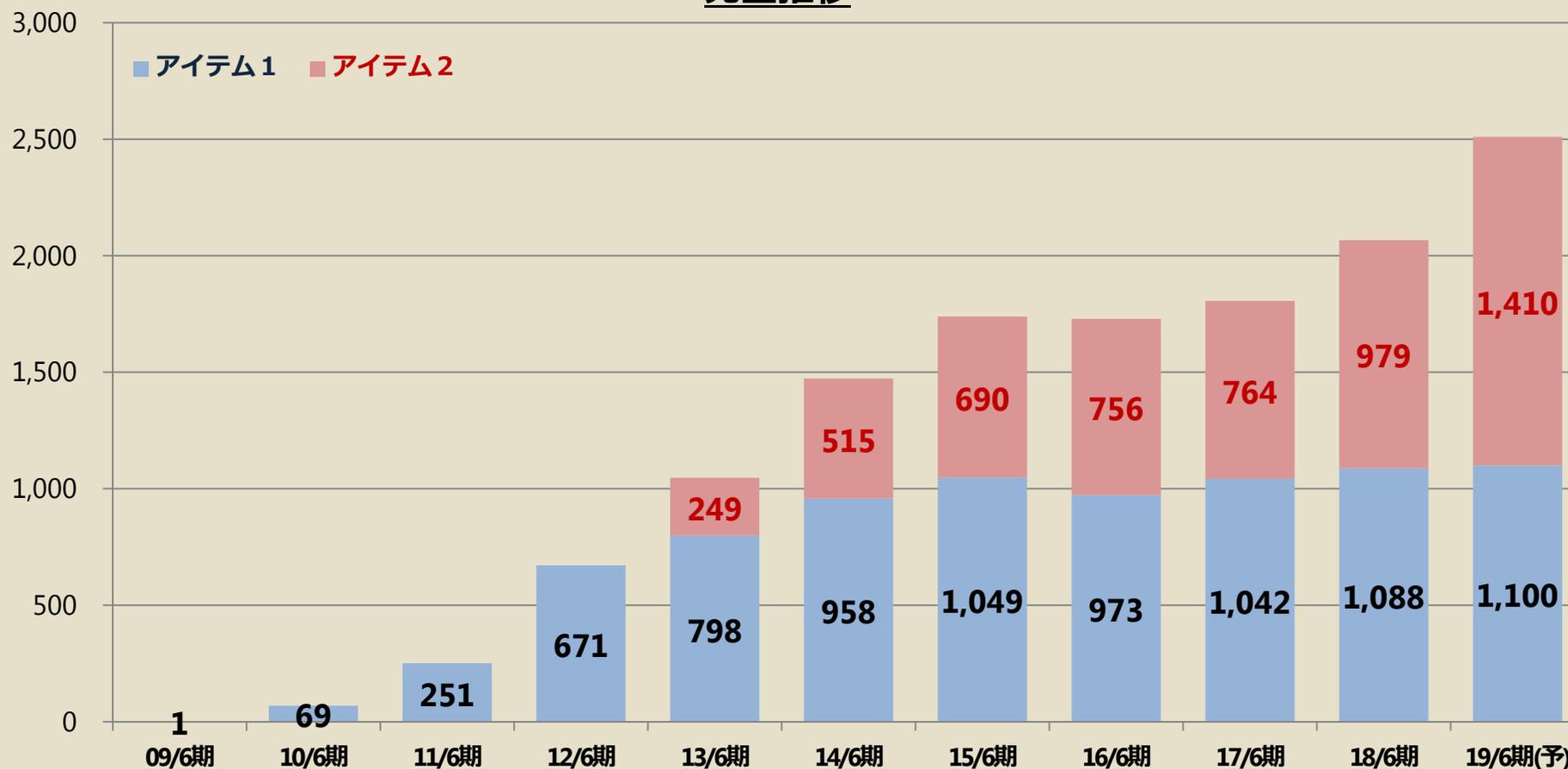
**自動車関連**  
住友電装との協業(新会社設立)で規模拡大。

## モノ作りNo.1を目指して：機械器具（医療組立）

## 受注拡大により更なる安定事業に発展

単位：百万円

## 売上推移



2010年  
医療製造業許可取得

2012年  
アイテム2生産開始

2012年  
アイテム1生産ライン増設

2017年  
アイテム2生産フロア拡充、ライン増設

# 成長分野① 新たな事業の確立

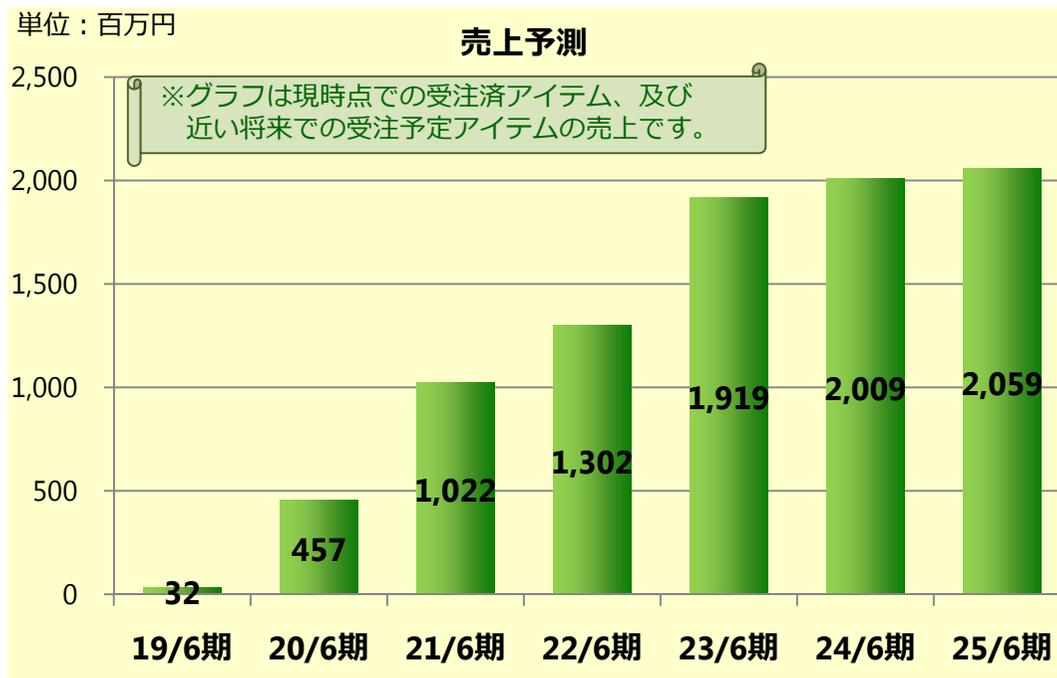
## ★ Tier1 (ティアワン) 向け車載部品ビジネス (2次電池向け部品事業を含む)

### 部品量産工場の増築 (日滝原第2工場建設に着手)



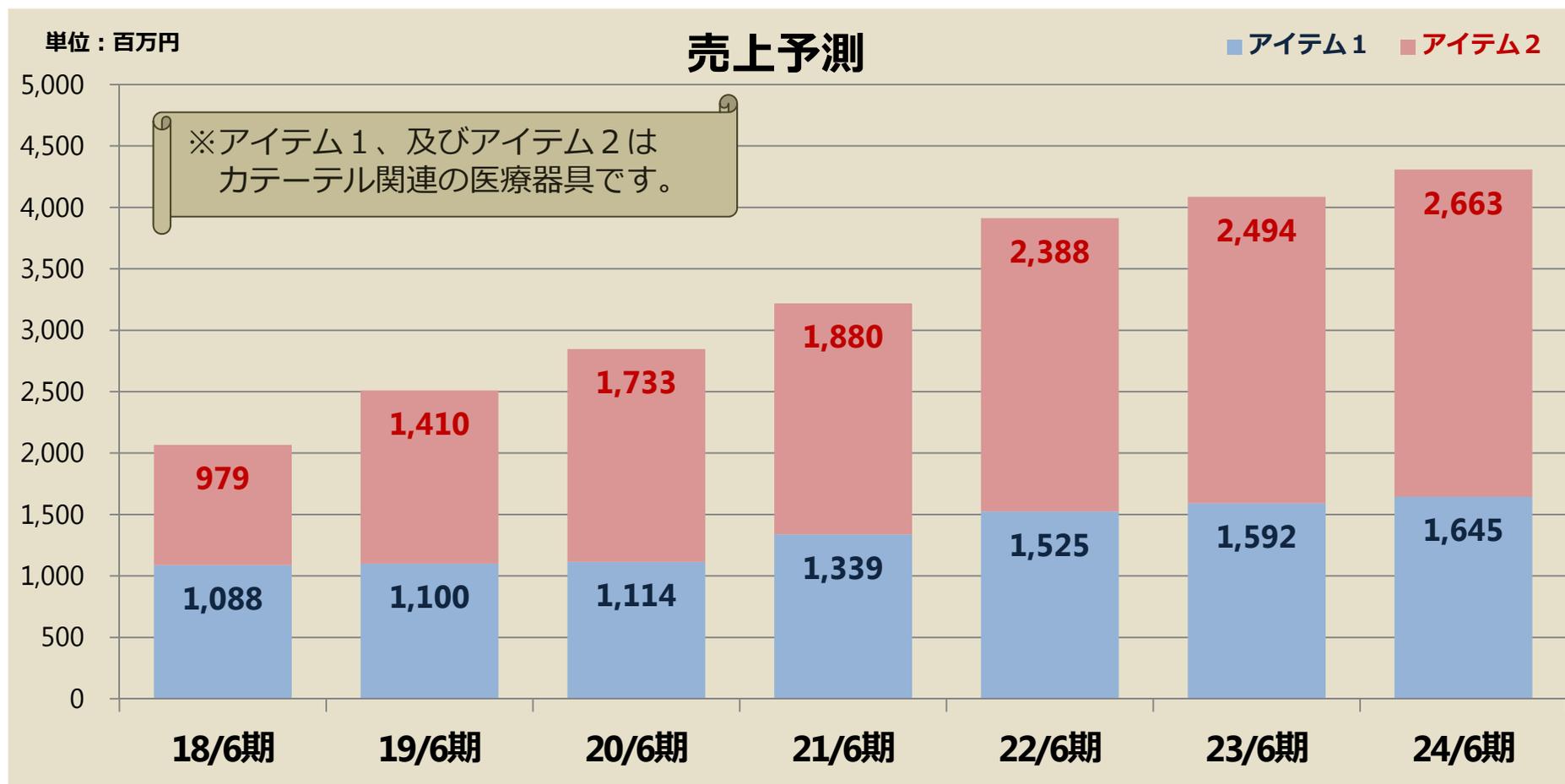
2次電池向け以外にも有力引合いあり！  
→ビジネス拡大へ

今回案件を足がかりに各社へ営業展開



## 成長分野② 有力となる事業の拡大

## ★ 医療組立の今後の展望について



生産予測は上ブレ。自動化を加速し、増産体制構築

20年4月より新工場での生産を開始

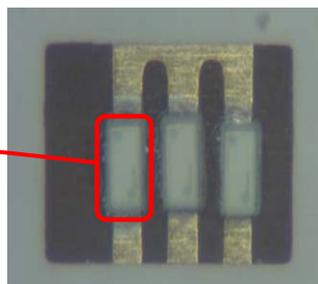
# 自社ブランド装置 LEDフリップチップ実装機

## 市場動向

## ディスプレイ市場の話題はMini LED一色



コシヒカリと  
Mini LED



鈴木製テスト基板と  
RGB Mini LED実装



e-sports用湾曲  
Mini LEDディスプレイ  
CES 2019

- CESで各国のRGBディスプレイが出揃う  
2017 SONY、2018 SAMSUNG、2019 TCL
- Mini LEDバックライトでLCDが復権
- 12.1インチゲーミングPCディスプレイの  
バックライトに13万個のMini LEDが  
実装される
- e-sportsの台頭で、高コントラスト、高レスポンスのMini LEDバックライトが求められている

## 自社ブランド装置 LEDフリップチップ実装機

量産への取り組み

実装テスト結果より、Mini LED対応を推進



- ミクロンオーダーの精度向上が求められており、高精度部品への変更を進めている
- 膨大なデータ処理の為に、ソフトウェアのアップグレードが進む
- 協業するACPメーカーでも、Mini LED対応が急ピッチで進められている

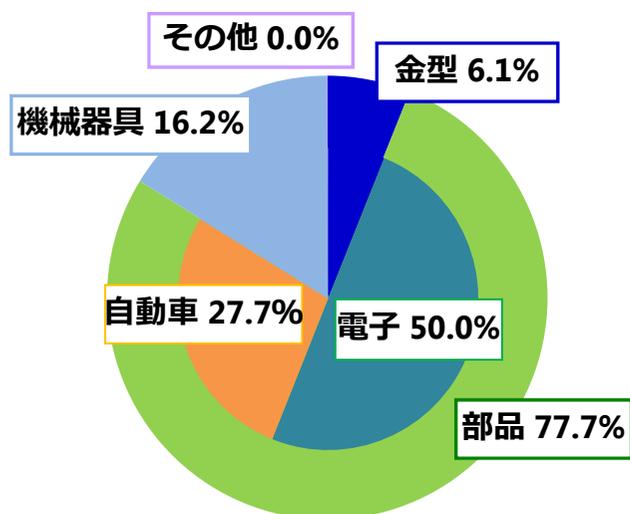
今 期 の 見 通 し

## セグメント別売上高 前期と比較

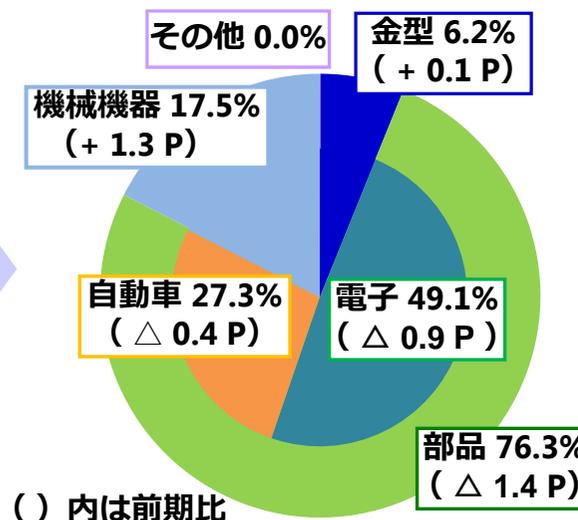
(単位：百万円)

	2018年6月期		2019年6月期 予想		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
■ 金型	1,656	6.1	1,759	6.2	103	+6.3
■ 部品	21,061	77.7	21,761	76.3	699	+3.3
■ 電子部品コネクタ	13,542	50.0	14,005	49.1	463	+3.4
■ 自動車電装部品コネクタ	7,519	27.7	7,755	27.2	235	+3.1
■ 機械器具	4,380	16.2	4,976	17.5	595	+13.6
■ その他	11	0.0	11	0.0	0	△2.4
合計	27,109	100.0	28,507	100.0	1,398	+5.2

18/6期：セグメント別売上高構成



19/6期（予）：セグメント別売上高構成



## 今期のPoint

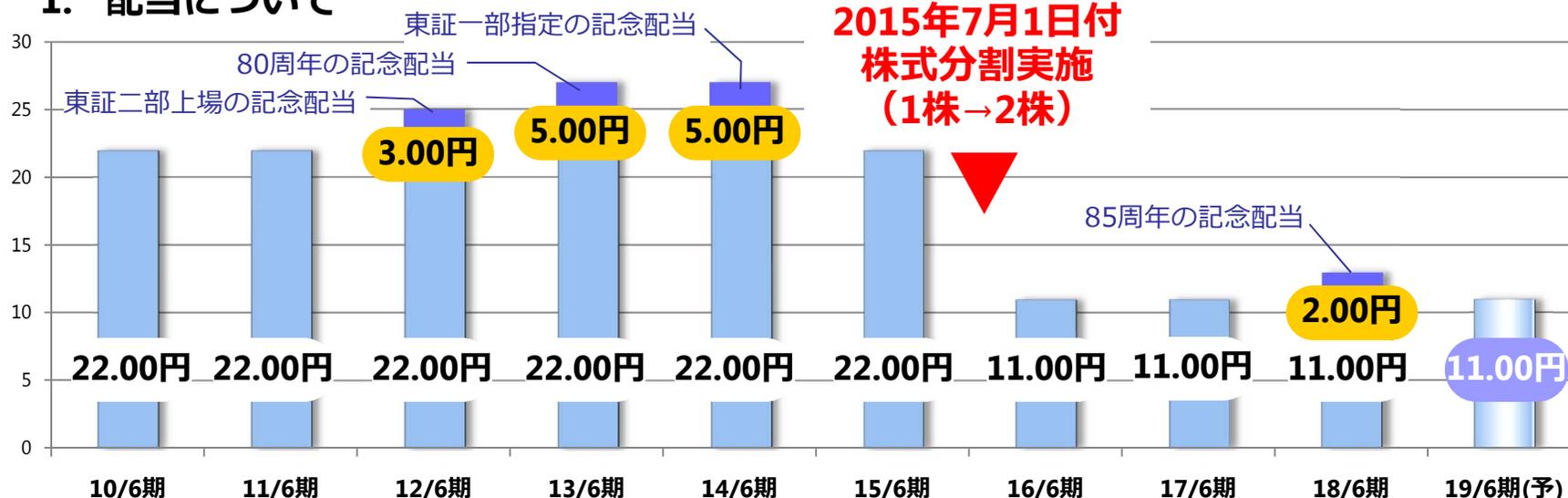
医療器具  
増産体制の構築

車載向け部品の  
量産開始

# 通期連結業績見通し

	2018年6月期	2019年6月期見通し	増減率
売上高	27,109百万円	28,507百万円	+5.2%
営業利益 下段：利益率	2,193百万円 8.1%	2,024百万円 7.1%	△7.7%
経常利益 下段：利益率	2,206百万円 8.1%	1,953百万円 6.9%	△11.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益 下段：利益率	1,176百万円 4.3%	1,082百万円 3.8%	△8.0%

## 1. 配当について



## 2. 株主優待について

### ■ 2019年6月30日を基準とする株主優待内容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
200株以上1,000株未満	半年以上	1,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ
1,000株以上	半年以上	2,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ

### ■ 2020年6月30日以降を基準とする株主優待内容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
200株以上1,000株未満	1年以上	1,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ
1,000株以上	1年以上	2,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ

# Being an “Only-One Company”

本資料は、2019年6月期 第2四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年12月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

[ir2006@suzukinet.co.jp](mailto:ir2006@suzukinet.co.jp)



代表取締役社長

鈴木 教義

取締役 専務執行役員

横山 勝登

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, containing the text '參考資料'.

## 參考資料

経営理念	<h2>「不への挑戦」</h2> <p><u>微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦</u></p>	
商号	株式会社鈴木	英語名：SUZUKI CO., LTD.
創立	1933年6月10日	
本社	長野県須坂市大字小河原2150-1	
上場	2001年2月16日 JASDAQ 2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部	証券コード：6785
代表者	代表取締役社長 鈴木 教義	
事業内容	電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種精密プレス金型・モールド金型の製造・販売	
資本金	24億3,747万円	
発行済株式数	14,390,000株（100株単位）	
関連会社	<p>【連結子会社】 国内：S&amp;Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）、S&amp;Sアドバンステクノロジー株式会社（持株比率：51%）、中国広東省：鈴木東新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）、中国香港：鈴木東新電子（香港）有限公司（持株比率：80.0%）、インドネシア共和国：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株比率：99.9%）、PT. GLOBAL TEKNINDO BERKATAMA（持株比率：93.6%）</p>	
従業員	【連結】 837名	【単体】 519名

※ 2018年12月末現在

# 株主の状況

(2018年12月末日現在)

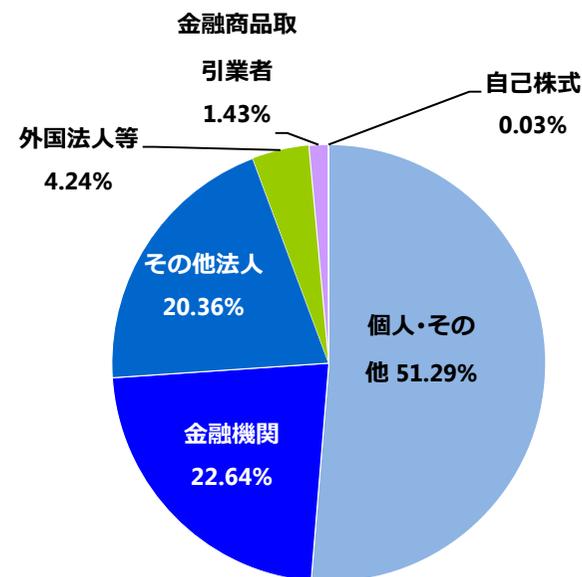
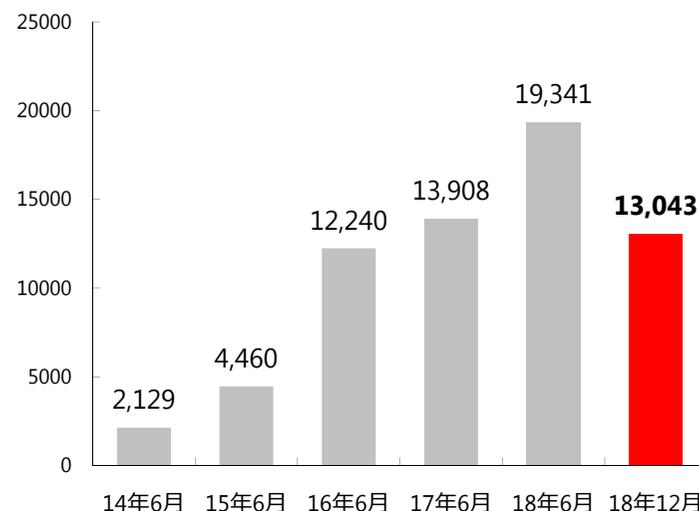
## ●大株主情報

株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
有限会社スズキエンタープライズ	2,272,600	15.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,236,500	8.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	662,500	4.60
鈴木従業員持株会	646,504	4.49
鈴木 教義	349,440	2.42
株式会社八十二銀行	310,000	2.15
高野 忠和	295,200	2.05
小島 まゆみ	208,000	1.44
野村信託銀行株式会社 (投信口)	194,300	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	189,900	1.31

## ●所有者別株式分布状況

	株主数 (名)	株式数 (株)	株式数分布比率
個人・その他	12,861	7,381,028	51.29%
金融機関	23	3,258,200	22.64%
その他法人	70	2,930,002	20.36%
外国法人等	60	610,371	4.24%
金融商品取引業者	28	205,942	1.43%
自己株式	1	4,457	0.03%

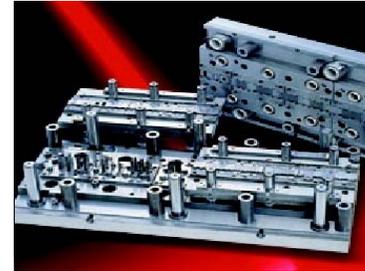
## ●株主数の推移



## 金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの  
精密金型の設計・製造

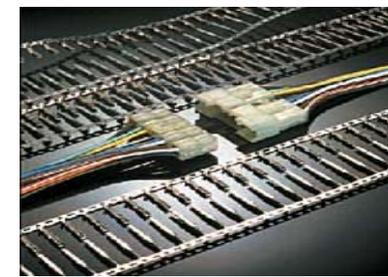
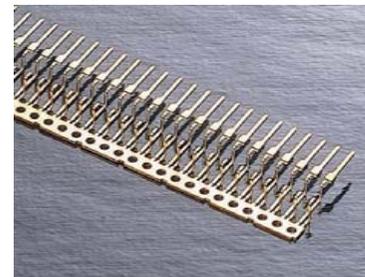
売上構成比：6.0%



## 部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車  
電装部品の量産加工

売上構成比：76.6%



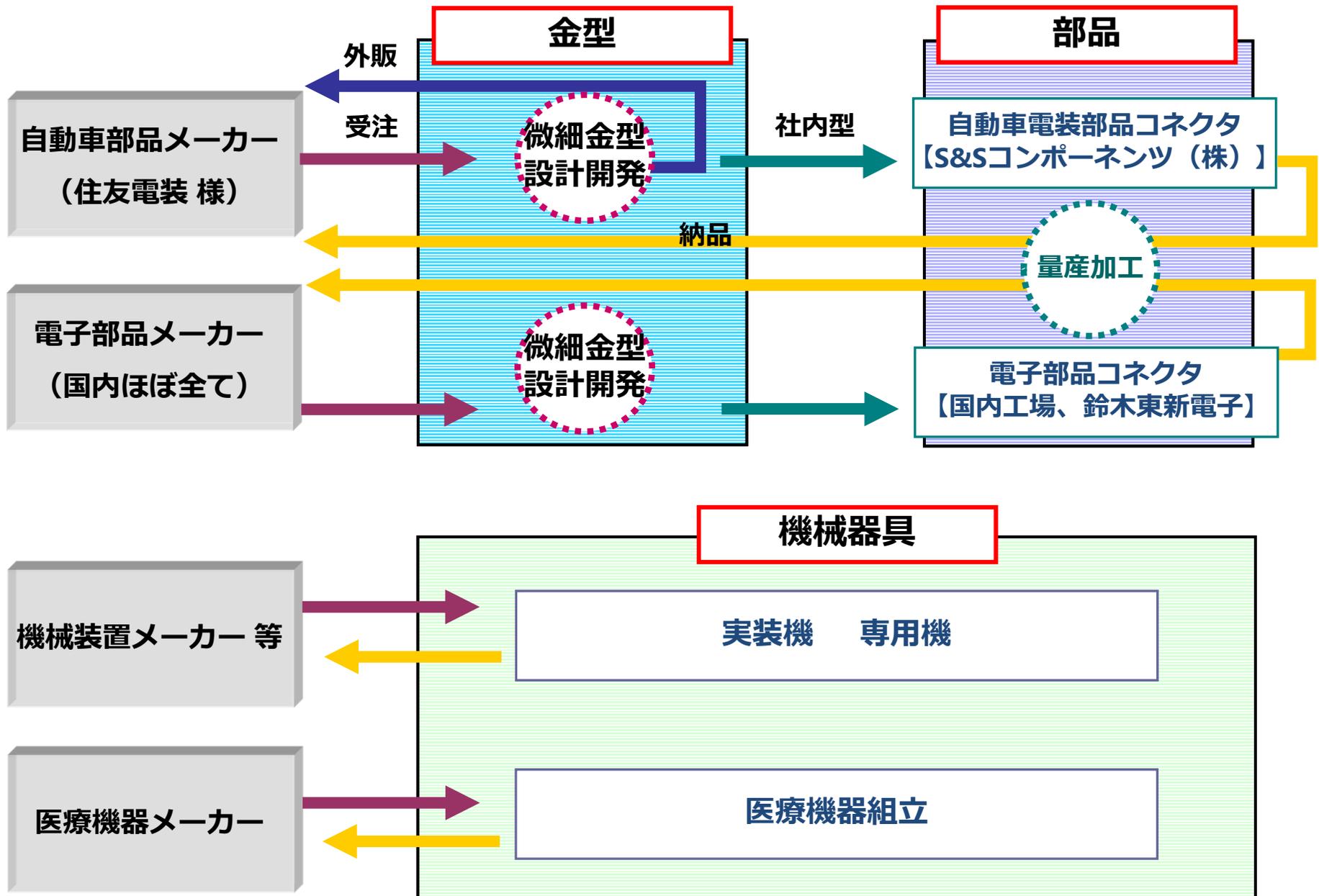
## 機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の  
設計開発  
医療関連器具の組立

売上構成比：17.3%

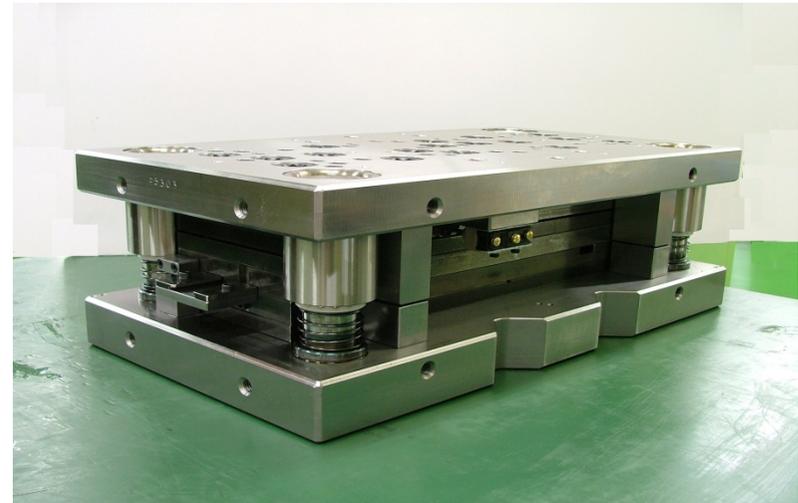
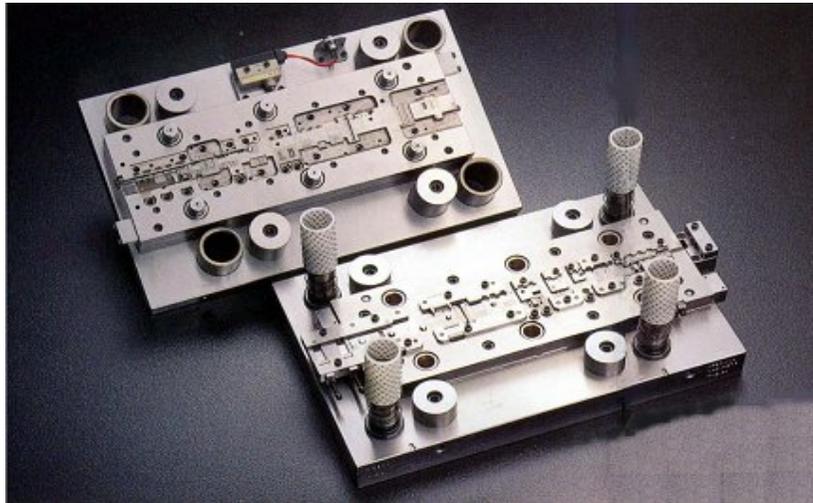


※ 売上構成比：2019/6期第2四半期の数値



## 「金型」

展開及び組付け時の金型の外観



## 「プレス加工」

一般的な加工工程のレイアウト

